

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 10 月 8 日（水）

地区 神社小学校区

会場 神社小学校図工室

参加者数 15 人



《質問・意見》

神社小学校と大湊小学校の統合について、既にまちづくり協議会等を通じて意見、質問させていただいているが、将来に向けての小学校の統合のやり方がいいが、幼稚園、保育園と一貫した一つの新たな小学校として新築するという考え方は無かったのか。その考え方に基づいて意見したが、通らなかったのか。地域の声が届いていないように思う。

《回答》【市長】

現在のところ、一貫したものを作り上げてきていない。これまで、小学校に入るまでの幼稚園や保育所の施設整備の基準について、国の話をはっきりしていなかったこともあるが、現状では、一貫した小学校、幼稚園、保育所というのも一考の余地はあるとの考えはある。実際に二見地域の保育所の保護者から、是非とも高台に移動してほしいとの要望書を預かっている。地域の思いがあれば一考はあると思う。

預からせてもらいます。

＜後日回答＞【担当部局 教育委員会事務局教育総務課】

神社地区振興会会長と面談を行い、「伊勢市の子どもの教育保育に関する施設整備計画（案）」に基づいて、神社幼稚園は計画期間内に廃園することとなるため、神社小・大湊小統合新設校に公立幼稚園を併設しない旨をご説明し、ご理解をいただきました。

《質問・意見》

馬瀬町に津波避難タワーを設置してほしいという要望があれば考えていただけるのか。

《回答》【市長】

当初は馬瀬町でも避難タワーを考えていたが、小学校の統合で防災機能を持った新しい校舎を造るので、避難施設として使っていただきたいという考えで進めています。

《質問・意見》

昨年、宇治で観光客が倒れ、救急車で市民病院でなく日赤に運ばれた。新しい病院を造るのだから、観光客の急病対応を市民病院が責任を持ってできないのか。

耳が聞こえにくいので書面で回答してほしい。

《回答》【市長】

どのような仕組みになっているのかと今後のことについて、書面で回答します。

＜後日回答＞【担当部局 健康福祉部健康課】

現在、市内のやや重症度の高い患者に対応する休日・夜間の二次救急医療は、伊勢赤十字病院と市立伊勢総合病院とで輪番で分担しています。現状では、分担割合が伊勢赤十字病院5に対し、市立伊勢総合病院が1となっており、伊勢赤十字病院へ集中しています。

昨年の遷宮を契機にたくさんの観光客にお越しいただいていることから、今後、新病院の開院に向けて、医療機関の役割分担と連携強化を図りながら、市民はもちろん観光客も安心して医療が受けられるよう体制整備を進めていきます。

《質問・意見》

市として人口計画というものはあるのか。若者が集まりやすく、結婚ができやすく、子供を安心して産める、そのような施策を考えてほしい。できれば何年後に何人にしたいという目標も挙げてもらおうとありがたい。

《回答》【市長】

来年度に向けて少子化対策の準備を進めています。縦割りではなくトータルで長い期間で見て、どのような支援方法が良いのかということを組み立てているところです。

《質問・意見》

釜屋所のポンプ場の運転の自動化を考えてもらえないか。

《回答》【市長】

現在ポンプ場の長寿命化計画を進めており、そのなかでできるだけ早く動けるようにしたいと思います。預からせてください。

＜後日回答＞【担当部局 都市整備部維持課】

施設の自動化については、老朽化する施設の延命や更新も含め、伊勢市全域にあるポンプ場で総合的に考えていく必要があり、中長期的な課題として検討いたします。管理する方の高齢化等により地元委託が難しくなった場合、業者委託を検討いたします。

《質問・意見》

空き家が全国的な問題となっている。平成25年度、市役所からの要請で空き家の調査を

したが、その目的と空き家対策としての伊勢市の方策があれば聞かせてほしい。

《回答》【市長】

空き家を放置しておく、防災面・防犯面等々で良くないということで、活用していくのか、除去していくのか、また、行政が寄付でいただくのか、どのような形が良いのかを考えながら進めさせていただきたいと思っています。課題は法的な強制力を持っていないことです。今の臨時国会で空き家対策の法律について審議されると思います。国の動向も見ながらできるだけ早く対策できる環境を作って行きたいと思っています。

《質問・意見》

現在まちづくり協議会を通じて馬瀬町の馬瀬川に架かる橋に歩道を設置してほしいと要望しているが、進展が全く無いので市長から状況を確認いただき、できるだけ早く対処願いたい。

《回答》【市長】

わかりました。

《質問・意見》

私は、まちづくり協議会を知らない人が8割ぐらいで悲しく思うが、市長はまちづくり協議会の認知度をどれくらいと思っているのか。

《回答》【市長】

20%っていないか、15%いけば良い方だと思っています。認知の広げ方について、知恵を出し合ってやらないといけません。ただし、行事を通じて参加していただいている人は増えていると思います。

《質問・意見》

先日の台風18号のときに神社小学校区の避難所としては神社小学校だけだったと思う。自主避難する人はほとんどが弱者だと思う。利用頻度のこともあると思うが、住む場所によっては遠いところへ避難することになるので、避難所が一つだけで良いのかという気がした。もう少し考えてほしい。

《回答》【市長】

避難所設置の場所と数ということですが、今回は午後3時という警報が出るかなり前に避難所を開けました。

これまで伊勢市内全体で自主避難する人の平均は30人から40人ぐらいで、今回は早めを開いたので75人ぐらい自主避難いただきました。早めに関することは大事だと思いました。

し、自治会の助け合いもあるとありがたいです。現在課題として揉んでいるところです。

《質問・意見》

三重県の学力が全国的にすごく低いことを心配している。

また、伊勢を出て行った子供たちが戻ってくるには、伊勢の魅力と仕事があればと思う。

《回答》【市長】

三重県は全国学力テストで大変残念な結果でありましたが、伊勢市の子供たちは学校の現場の方々や塾の方々のおかげで全国平均と変わらない位置まで来ている。これからも努力していきたいと考えています。

働く場所をいかに創っていくかが一番大きい課題と思っています。あとは教育にしても地域医療にしても、それぞれがやっている事業の質を一步でも上げることが大切だと思っています。そのようななかで、伊勢の教育を受けさせたいとか、伊勢の病院がしっかりしているから伊勢に引っ越そうかとか、言ってもらえるような仕事をさせていただければと思っています。